



〈雑録〉取引所ノ意義及ヒ其ノ特質

坂西, 由藏

(Citation)

経済學商業學國民經濟雜誌, 1(1):142-147

(Issue Date)

1906-06

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/00051023>



取引所ノ意義及ヒ其ノ 特質

神戸高等商業學校
教授 商業學士

坂西由藏

ホルント氏 (R. van der Porght) ノ著「商業及ヒ商業政策」(Handel und Handelspolitik) ノ前半ハ量ニ内池謙吉氏ノ解説「商業通論」アリ。但シ本書ハ尙ホホルント氏商業論ノ最後ノ一章タル「取引所商業論」ヲ缺ク。然ルニ、内池氏自ラ之カ解説ニ從事スルノ暇ナキノ故ヲ以テ、其ノ任ヲ擧ケテ予ニ托セラル。乃チ、時々是カ抄譯ヲ試ミ其ノ約チ果サント欲ス。本稿ハ即チ「取引商業論」ノ一節ナリ。

取引所トハ其ノ履行ヲ他ノ場所及ヒ他ノ時ニ期スヘキ商取引ノ締結ヲ目的トシテ商業者カ規則正シク繰リ返シテ集會スルヲ云フ。

取引ヲ締結センカ爲メニ時ヲ定メテ商人ノ集

會スルコトハ從來既ニ行ハレタル所ニシテ、彼ノ『市』市場ト稱スルモノモ亦其ノ一ナリ。然レトモ『市』ト取引所トハ決シテ之ヲ混同ス可カラス。蓋シ取引所ニ於テモ『市』ニ於テモ、商人カ規則正シク集會スト云フノ點ハ共ニ其ノ揆ヲ一ニスト雖モ、兩者ノ間ニ重要ナル差異ノ存スルカ故ニ取引所ヲ以テ別ニ特殊ナル一制度ト見サルヘカラサルモノアリ。

然リト雖モ、取引所ト『市』トノ差異タル、固ヨリ其ノ區劃截然タルモノニアラス。今、此ノ兩者ヲ別ツニ當リテ主トシテ標準トナシ得ヘキ點凡ソ三アリ、集會ノ時ニ關スルモノ其ノ一ナリ。集會ヲナス人ニ關スルモノ其ノ二ナリ。取引ノ目的物ニ關スルモノ其ノ三ナリ。左ニ順次之ヲ説明セン。

第一、取引所ト『市』トハ集會ノ時ニ關シテ差異アリ。取引所ハ永續的性質ヲ具ヘ、其ノ集會ハ日毎ニ行ハレ、若クハ極メテ短キ間隙ヲ置キ

テ開カル。『市』ハ通常然ラス。唯其ノ例外トシテ小商業ノ機關タル週市カ短時期ノ間ニ屢々開カレ、或ハ日毎ニ開カル、モノアルノミ、此ノ他ノ小商業ノ『市』及ヒ大商業ノ『市』ノ開カル、ニハ、其ノ間ニ長キ時日ヲ隔ツルモノトス。要スルニ、『市』ハ其ノ時々ニ需要供給ノ投合ヲ計ルヲ以テ目的トシ、取引所ハ引續キテ間斷ナク需要供給ヲシテ相接シ相觸レシムルコトヲ以テ目的トス。

第二、取引所ト『市』トハ集會ヲナス人ニ關シテ差異アリ。前述ノ如ク取引所ハ日毎ニ開カルルヲ常トスルカ故ニ、其ノ集會ハ主トシテ取引所々在地ニ住スル人ヨリ成リ、交通ノ便アル附近ノ地ニ住スルモノモ亦多少之ニ加ハルコトアリ。然ルニ『市』ハ其ノ集會ノ頻繁ナルモノ(週市)ヲ除ケハ、遠隔ノ地ヨリ來リ會スルモノヲ多シトス。

次ニ取引所ニ入リテ取引ヲ行フモノハ主トシ

テ商業者ナリ。『市』ハ必スシモ然ラス、生産者、消費者ノ來リ會スルモノ亦少シトセス。

加之、取引所ニ於テ取引ヲ行フ商人ハ他人ノ注文ニ應シテ取引ヲ締結スル仲買人其ノ大部分ヲ占メ、此等取引ノ注文者ノ中ニハ往々甚タ遠隔ノ地ニ住スルモノアルヲ見ル。然ルニ『市』ニ赴クモノハ主トシテ其ノ取引ノ本人自ラ、若クハ其ノ直接ノ代理人ナリトス。但シ大商業ノ爲メニスル『市』ニ在リテハ他人ノ爲メニ取引ヲ行フヲ以テ業トナス者ヲ全ク見ルヲ得スト云フニハ非スト雖モ、取引所ニ於ケルカ如クニ著シキ特色ヲナスニ至ラス、殊ニ小商業ノ爲メニスル『市』ニ至リテハ全ク此種ノ商人ヲ缺ケリ。

第三、以上ノ二點ニ優リテ取引所ト『市』トヲ分ツニ重要ナル點ハ其ノ取引ノ目的物ニ在リ。

蓋シ『市』ニ於テ賣買ノ目的物タルモノハ唯直接ニ欲望充足ノ用ニ供セラル、物 (Gegenstände des unmittelbaren Bedarfs) ニ限ルト雖モ、取

引所ニ於テハ各種ノ有價證券ノ如キ欲望充足ノ手段トシテ極メテ間接ナルモノ (Waren des mittelbaren Bedarfs) モ亦盛ニ取引セラル、コトヲ見ル。殊ニ、『市』ノ目的トスル所ハ特定、不代替的ノ商品ノ賣買ヲ行フニ在リ。取引所ニ至テハ然ラス、其ノ取引ハ不特定ナル所謂『代替的、商品』(die Gattungswaren, die vertretbaren-fungiblen—Sachen) ノ一定ノ數量ニ就テ行ハル、モノナリ。抑モ、此ノ種ノ商品ハ其ノ品質一定シテ一々現物ニ就テ之ヲ點檢スルノ要ナク、其ノ品種名ヲ以テ克ク之ヲ指示シ得ヘキカ故ニ、其ノ取引ヲ行フニ當リテ重キヲナスモノハ賣買セラルヘキ數量是ナリ。即チ取引所ニ於テハ其ノ取引物件ニ就キテ一定ノ標準ヲ設ケ、各取引ハ凡テ此ノ所定ノ標準ニ合致スヘキ物ニ就テ行ハル、モノト看做シ、其品種ノ物品ノ若干量(例ヘハ某種ノ珈琲ノ一千袋) ニ就テ賣買ヲ行フナリ。然ルニ『市』ニ於テハ各場合ニ臨ミテ一々現

物ニ就テ其ノ品質ヲ點檢シ、若クハ其ノ特定ノ見本ヲ提出シ、而シテ後其ノ特定ノ商品若干ノ取引ヲ行フモノナリ。

實ニ『代替の商品』ノ賣買ハ取引所商業ノ重要ナル特色タリ。即チ、其ノ商品ノ品質ハ各場合ニ臨ミテ一々之ヲ點檢スルノ要ナク、其ノ品種名ハ其レ自ラニ於テ是カ品質ヲ現ハスニ足り、若クハ取引所ニ於ケル取引ノ習慣上其ノ品質ノ定マレルノ結果トシテ、敢テ賣買ノ目的物ヲ取引所ノ現場ニ齎スコトヲ必要トセス。唯、見本ヲ示シテ其ノ取引セラルヘキ量カ一定ノ標準ニ合致スルモノナルコトヲ認メシムルノ用ニ供スレハ可ナリ。否、多クノ場合ニ於テハ見本ノ提出ヲモ必要トセス、一ニ其ノ品名ヲ呼フヲ以テ足レリトナスナリ、蓋シ賣買ノ當事者ハ既ニ其ノ品名ニヨリテ取引物件ノ品種性質ヲ熟知スレハナリ。念フニ此ノ種ノ取引方法ハ大商業ノ爲メニスル『市』ニ於テモ亦多少行ハレサルニ非ス

ト雖モ、是レ其全取引ノ極メテ一小部分ヲ占ムルニ過キスシテ、彼ノ現物ヲ現場ニ齎シテ特定商品ノ賣買ヲ行フモノニ比スヘクモ非ルナリ。取引所ニ於ケル取引ノ期スル所ハ唯其ノ賣買契約ノ締結ニ在リテ、必スシモ其ノ履行ニ在ラサルコトハ、亦現物ヲ其ノ場所ニ齎スコトヲ要セサルニ至ル所以ノ一ナリ。蓋シ『市』ニ在リテハ、賣買ヲ締結スルト同時ニ直チニ其ノ現場ニ於テ物品ノ引渡ヲ行ヒ履行ヲ了ルヲ目的トスルコトヲ多シトス。取引所ハ然ラス。蓋シ取引所ニ於ケル取引ノ中ニ就テ、賣買契約ノ締結ト是カ履行トカ接近シテ行ハル、コトハ所謂『直取引』ニ如クモノナシ。シカモ『直取引』ト雖モ、其ノ締結ト履行トハ時ヲ異ニシ場所ヲ異ニス。『直取引』ト雖モ取引物件ヲ取引所ノ現場ニ齎シテ物品ノ受渡代金ノ支拂ヲナスモノニハ非ルナリ。

加之、取引物件中ニハ之ヲ取引所ノ現場ニ齎

シテ引渡ヲ了スルカ如キハ、事實上ナシ能ハサルモノアルヘシ。蓋シ其ノ取引ノ高ハ通常頗ル巨額ニ昇ルカ故ニ、之ヲ現場ニ齎サントセハ多額ノ費用ト廣キ場所トヲ要シ、是カ爲メニ其ノ取引ヲ困難ナラシムヘケレハナリ。抑モ取引所ハ代替的商品ニ關スル大取引ノ中心點ナリ。此種ノ商品カ消費者ノ購フ所トナルニ當リテハ極メテ少量ニ分割セラル、モノナルカ故ニ、其ノ商品カ最終ノ目的點タル『消費』ニ近ツクニ從ヒ

ヒ小ナル取引行ハレ、『消費』ニ遠サカルニ從ヒテ大ナル取引ヲ行フヲ得。是レ即チグスターフ、コーンノ云ヘルカ如ク(System der Nationalökonomie, III. S. 88)取引所ニ於ケル各取引カ凡テ多量ノ商品ニ就テ行ハル、所以ナリ。而シテ取引所ニ於ケル各取引ノ賣買單位ハ一定セルヲ常トス。

如上ノ特質ハ取引所ニ於ケル取引カ影響ヲ及ホス所頗ル廣ク、往々國外ニ及フニ至ルニ與テ

力アリ。蓋シ取引所ニテ成立シタル物價ハ、取引所ニテ取引サレタル商品カ個々ノ消費者ノ手ニ移ルニ缺クヘカラサル凡テノ仲介商人ノ取引ヲ支配ス。而シテ取引所ニ於ケル取引カ往々遠隔ノ地ニ住スル者ノ注文ニヨリテ行ハル、ノ事情ハ、取引所ノ物價ヲシテ更ニ廣キ範圍ニ涉リテ重要ナル意味アラシムル所以ナリ。

獨逸語ニテ「マルクト」(Markt)トハ從來「市」ヲ意味シタリ、此ノ意味ニ於テハ取引所ハ「マルクト」ニアラス。今ヤ、具體的商品(現物)ノ提供ヲ要セスシテ賣買契約ヲ締結スル『取引所』テフ大取引ノ中心點ハ大ニ從來ノ「マルクト」ノ勢力範圍ヲ侵セリ。而モ、此ノ新ナル取引ノ中心點ヲ呼フニ尙ホ「マルクト」ナル語ヲ以テセントセハ、此語ニ與フルニ從來ヨリモ更ニ廣ク更ニ深キ意義ヲ以テセサルヘカラサルニ至レリ。

補註 現今「市場」(Markt; market)ナル語ハ(一)狹義、具象的意義ト(二)廣義、抽象的意義トニ解セラル。

第一、狹義、具象的ニ云ヘハ市場トハ一定ノ時ニ多數ノ賣買當事者カ集會シテ交換交通ヲ行フ一定ノ場所ヲ指ス。此ノ意味ニ於ケル市場ハ之ヲ細別シテ二トナスコトヲ得。

(一) ハ現物賣買ヲ主トスルモノニシテ所謂「市」^{イチ}「市場」^{イチバ}ト稱スルモノ是ナリ。

(二) ハ代替不特定ノ商品ノ取引ヲ主トスルモノニシテ取引所ハ即チ是ナリ。

第二、廣義、抽象的ニ云ヘバ市場トハ凡テ交換交通ノ行ハル、範圍ナリ。尙ニ現實ニ交換交通ノ行ハル、場所其ノ物、集會所其ノ物ヲ指スノミニ非スシテ、金融市場、一國ノ市場、世界的市場等ノ語ノ示スカ如キ無形、抽象的ノ範圍ヲモ包括ス。即チ、廣ク交換交通ノアラユル機會ヲ總括スルモノニシテ、或ル意味ヨリ云ヘハ「販路」(Absatz)ナル語ハ之ニ近シ。